

LTEで高速通信実現



トランストロン

富士通グループのトランストロン（大岡信一社長、

横浜市港北区）が販売するネット

ワーク型デジタルタコグラフ「DTS-D1」シリーズと、クラウド型運行支援サービス「ITP-Web Service V2」が運送事業者の間で好評だ。

DTS-D1は、従来機種C1シリーズを更に進化させ、2015年8月に発売されたもの。LTE通信モジュールを標準搭載して高速通信を実現し、特にドライブレコーダー（DR）搭載型機種は大きく進化した。

高視野角で文字の見やすい有機ELパネルは、従来機能が大きく進化した

「DTS-D1」

最大5台同時に撮影

に比べ1・5倍の大屏幕となり、逸脱時にはドライバーに警告し、事務所にも通知していても押しやすい。また、テンキーを独立させることで、給油量を簡単に入力できるようにした。

運転免許証リーダーに免許証をかざせばドライバーを認識するため、免許不携帯や期限切れも防げる。更に、外部機器接続機能を充実させており、モバイルアルコール検知器との連携や、スマートフォン（スマホ）を操作部として活用することも可能。

DR搭載型機種では、92万画素デジタルカメラにより鮮明な画像を実現しており、最大5台までの同時撮影が行える。また、画像認識技術で車間距離を検知。

車線検知機能を搭載してお

（吉田英行）